

貴州省におけるオシドリ繁殖の資料

呉至康¹・謝家驊²・李筑眉²

1 貴州省博物館

2 貴州省師範学院

訳 福井和二

オシドリ (*Aix galericulata*) は国家重要保護鳥類で、彼の主要な繁殖地はわが国の東北地方北部、ソ連のウスリー地方と庫頁島、朝鮮北部および日本の一部地区である。渡りに際して華北を経由し、長江下流域および東南各省に至り越冬する。貴州省では一般的には冬鳥として知られている。筆者は貴州省での鳥類調査の過程で、オシドリの繁殖資料を蓄積したので以下のように発表する。

オシドリは毎年10月初旬に貴州省に渡来し、翌年3月下旬に去る。滞在期間は約半年、しかし、一部が周年生息する。彼らは5羽ほどが一群となって行動し、溪谷や湖沼、ダムなど人があまり近寄れない水域に生息し、川の岸辺やダム湖の土塁など、稀には、人の飼育するアヒルと混群で行動しているのを見かける。

1974年5月上旬に貴定県鷄場坪の田圃のやや近くに生えたクヌギの、高さ6mにある樹洞で、営巢中のオシドリを観察した。

1980年4月15日江口県梵浄山の牛尾河(海拔500m) 傷ついた1羽の雌と生まれたばかりの卵1個を発見した。卵の大きさは46×35mm、淡黄白色であった。

1981年4月17日梵浄山の馬槽河(海拔560m)の溪谷で、岸辺の険阻な崖の隙間にオシドリの空巢を発見した。地上から約5mの洞穴に苔で作られ、中央が窪みになっていた。

1982年7月17日、綏陽県青杠塘で5羽のオシドリが谷川(海拔650m)のなかで行動している中に1羽の換羽中の雌を見つけた。羽色はくすんだ繁殖羽であった。

1980年7月16日湄潭県百花湖(人工湖、海拔1100m)で1羽の雌と5羽の雛が湖岸近くで泳いでいるのを発見、その後、近くの水田で採食していた。発見したとき接近しても親鳥は飛び立たず、雛は親鳥に従って1列に並んで立ち去った。その後、湖岸から50mの所で採食している雌1羽と雛2羽を捕獲した。

雛の体重105, 107g, 翼長31.5, 32.5mm, 嘴峰20.0, 20.5mm, 尾長28.5, 31.5mm, 跗蹠25.0, 25.2mmであった。上嘴は黒褐色、下嘴および嘴の甲は黄色である。雛は全身絨毛に被われ、上体は暗褐色、額から上背にかけて幅広く濃い褐色の帯びがあり、眼の周囲と後方にかけて乳白色の帯状紋がある。翼の上面に乳黄色の斑点があり、腰の両側に乳白色の斑点がある。胸部、腹部は淡黄色、翼の風切羽はまだ成長しておらず、尾羽のもまだ正羽は生えていなかった。

かつて1978年5月にも湖岸から30mほど離れた水田の端にある古いニレの樹の樹洞に営巢しているオシドリを見つけたことがある。樹洞は地上から8mの高さで、巢には9卵あり、大きさは鶏の卵ほどであった。

オシドリの巢、卵、雛が貴州省で記録されたことは彼らが貴州省で繁殖していること証明し、繁殖期は4～7月、しかも貴州省中部以東の幾つかの地域で観察された。オシドリは典型的な古北界の鳥で、その繁殖域は北緯約42°から南は26°40'まで、これがわが国の繁殖地の南縁で、その距離約1850km、東経約128°より西へ106°40', 約1900km。これは現在知られているオシドリの最南、最西の繁殖記録である。これは調査が進めば貴州省近隣にもオシドリ繁殖の新記録が生まれる可能性が推測され、オシドリ繁殖域の拡大は、貴重な動物の保護と繁栄をはかるために非常に重要な意義がある。